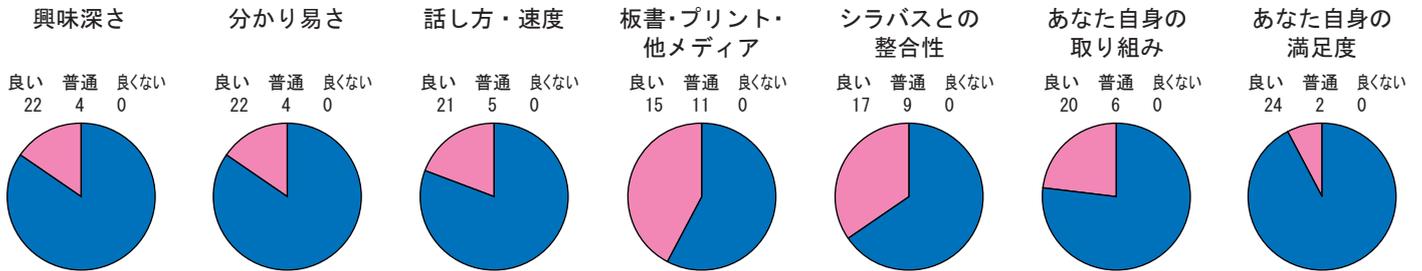


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「動物系統分類学実験 I」

回答者数：26名 履修申請生物学類生数：34名 (回答率76%)



良かった点

- ・生物の多様性について改めて考えるきっかけになった。今まで観察したことのない動物群をたくさん観察できたこと。▪
- ・なんでも自由にやらせてくれた。そのおかげで興味をもてた。
- ・校内のいろいろな生物を観察できてとてもよかった。じかに生物に触れることができてよかった。▪
- ・生物のおもしろさに改めて気付かされた。自由にやらせてくれたのがよかった。楽しい! ▪
- ・自由に好きなだけ観察できた点。▪
- ・この実験はつまらなかったけれども、先生が実験で用いた動物、またそれ以外のものについてもさまざまな特徴などを教えてくださって、とても興味ひかれるものとなりました。また、何時まで実験が及んでしまっても、ずっと付き合っていてくださってうれしかったです。▪
- ・自分で自由に採集できたのがよかった。時間を気にせず付き合っていたいたが、思う存分観察することができた。器具も自由に使えてよかった。自由課題の時間が良かった。▪
- ・いろいろな動物門を観察できた。▪
- ・実験中に様々な生物を見ることが出来たのが良かったです。▪
- ・先生がとても熱心な方で、学生が遅くまで残っていても付き合ってくださいっていて感謝しています。生徒の自主性を重視した内容の実験で、面白かったです。▪
- ・微小な、様々な生物を見ることができてとても勉強になった。
- ・実験や種の同定がスムーズに行くようなアドバイスをしてくれて良かったです。

改善すべき点

- ・特になし。▪
- ・1学期間全部を使って（前半・後半に分けずに）実験をして欲しい。▪
- ・レポートに詩やエッセイを要求するのは先生方の趣味ですか？
- ・特にないです。▪
- ・図鑑がもっと充実していれば見やすかった気もする。最後の方の休講が残念。▪
- ・動物群の特徴など解説が欲しい。

担当教官のコメント

- ・この実習の伝統である構内の色々な環境に生息する動物を採集して（できるだけ）多くの種を観察スケッチする、という方法が学生に興味を持って受け入れられていることをうれしく思います。▪
 - ・改善すべき点として、実験の開設期間に関わる内容の指摘が2つありますが、他の科目との関係や、1実験あたりの時間数の規定などの約束がありますから、簡単に変更することはできないと思います。15年度の場合、最後の2回分の日程が動物分類形態学臨海実習と重なり、この実験と臨海実習の履修学生の大半が重なっているため、残念ながらこの実験の方を休講にしました。担当者自身も残念に思っています。ご理解ください。▪
 - ・動物群の特徴の解説が欲しいとの指摘がありますが、スケッチに付けたコメントや、毎回スケッチを返却する時に個人個人に対して行なった説明だけでは不足だということでしょうか？もしそうなら、要点をまとめたプリントの配布などを検討する必要があります。しかし、これらの知識は動物分類学概論でもすでに学習済みと了解しています。個人の知識に不足があれば、自分自身で補う努力も要求したいものです。そのための時間と資料は実験時間中にも十分に確保されていると認識しています。図鑑などの資料図書については、今後さらに充実させたいと思っています。▪
- 最後に、これは改善すべき点として指摘されたわけではないと思いますが、レポートに詩やエッセイを要求したことの理由を説明しておきますと、みなさんのレポートが参考図書などを引き写しただけのものではなく、実験の対象とした動物や動物群に対する生々しい記憶と想いが込められたものになるように考えた結果です。そのうえで、形式を詩やエッセイにした点については担当者の趣味です。